

一般質問

菅原隆男 議員



一日も早くスクールバスの導入を

町長 平成21年度からの運行実施を検討

菅原 平成20年度にデマンド型交通一部運行
高年齢者や公共交通空白地域にどのような交通サービスを検討していますか
またデマンド型交通システム

町長 大変厳しい状況であります。平成13年度以降の利用者は年間1万人を割り、乗車密度も1人程度です。平成18年度の町の持ち出しが約440万円で大きな負担となっており、見直しを含め検討します。

菅原 バス松風西高玉線は、利用者が少なく空車運行が見受けられますが、経営状況はどうなっているか伺います。

町営バスの運行状況

ムの導入を検討すべきと思
いますがいかがですか。
町長 町営バスに代わる交通手段として、ドア・ツー・ドアで送迎ができるデマンド型交通システムを検討しています。

部区域の運行を実施します。将来的には町内全域を対象とした事業展開を目指していきます。
菅原 スクールバスの導入
バス通学の遠距離児童生徒について、距離と生徒数は何人ですか。
教育振興主幹 小学生は4km以上で38名です。中学生は6km以上で74名です。

菅原 遠距離児童生徒の通学手段、中学校の部活動遠征など子供たちが安全、安心に通学できるよう効率的なスクールバスの導入が必要だと思いますがいかがですか。
教育長 小中学校の統合再編のスケジュールを十分に考慮し、できるだけ早い導入を考えていきます。

町長 児童生徒の安全、保護者の負担、路線バスが走っていない地域の子供たちを考えればスクールバス導入は、当然必要なことです。平成20年度に運行形態、対象エリアを検討し、平成21年度からスクールバスの運行を実施したいと思っています。



利用者が少ない さくらバス

平均乗車密度
運送収入÷実車走行キロ÷平均賃率(1キロ当たりの運賃)

一般会計

燃料費などに

472万円を追加補正

総額 72億 2,177万円となる

質疑

議員 原油高騰により町全体に及ぼす影響は大きいと思うが、どの様な取り組みを考えていますか。
当局 生活、産業、経済に及ぼす影響は大きいと捉えています。年内中に対策本部を設置し、何らかの対応をはかります。



施設園芸への影響は

議員 選挙管理委員会費の内容を伺います。
当局 町議選の争訟にかかる経費です。再度、当選人の更正決定を行うため開催する選挙会の費用です。

争訟の費用

- 一般会計補正予算の主なものは、
- 原油高騰にともなう生活支援対策事業に 313万円
- 障害者自立支援給付事業に 387万円
- 人事院勧告にともなう人件費などに 409万円
- 選挙管理委員会費に 13万円
- 児童措置費に 800万円
- などです。

平成19年度補正予算総括表

会計項目	補正額	補正後の額
一般会計	472万円	72億 2,177万円
特別会計		
下水道	347万円	7億 1,672万円
国民健康保険	7,952万円	15億 1,630万円
老人保健	700万円	18億 47万円
介護保険	1,293万円	13億 8,771万円

条例

新しくなること



がんばれ若粘ランナー

納期は第1期(7月)から第8期(2月)まで
後期高齢者(75歳以上)医療制度が平成20年4月1日から施行されることにもない、年金から天引きできない方(普通徴収)の保険料の納付などを定めるものです。
特別室が3800円から5250円に
平成20年4月1日から、病院に入院の際に個室などの使用料差額が値上げになります。

有効活用を図る

白鷹町スポーツ振興基金を、適切と認める事業の費用に充てる場合に限り取り崩しができるようになります。

人事院勧告を準拠

町一般会計の給与の一部がかわります。扶養手当の額が6000円から6500円となります。行政職の給料表が改正され若年層は引上げ、中高年層は据え置きとなります。